

2020 日本酒学のこれから

新潟大学では2020年に「日本酒学センター」を全学組織に発展させるとともに、産官学の連携を強化した魅力ある「日本酒学」の創成を進めています。このシンポジウムでは、新組織になった新潟大学日本酒学センターの活動と研究内容を紹介するとともに酒業・食・観光業など異なる分野から見た「日本酒学への期待」について語っていただきます。皆様のご参加をお待ちしています。

日時

2020年 **12/15** (火) 13:30-16:20

参加費無料

※参加費は無料ですがオンライン参加者は、インターネットに接続する費用は参加者でご負担下さい。

開催方法

オンライン(Zoom利用)による配信

定員

300名

本年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から事前申し込みによるZoom(ウェブ会議システム)を用いたオンライン方式にて行います。

定員になり次第締め切らせていただきます。

主催

新潟大学、新潟県、新潟県酒造組合

助成

文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会



<申込方法>

QRよりメールフォームの各項目にご記入の上、お申し込みください。

[開会の挨拶]

司会：平田 大 (日本酒学センター 副センター長)

13:30 牛木辰男 (新潟大学 学長)

[第一部]

13:40 『日本酒学センター・経緯と展望』

鈴木一史 (日本酒学センター センター長)

13:55 『日本博 新潟発!知のツーリズム「日本酒学(Sakeology)」文化体験プログラム』

岸 保行 (日本酒学センター 副センター長)・長谷川佐知子 (研究企画室 主任URA)

※本プログラムは、文化庁の「令和2年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業『イノベーション型プロジェクト』」の助成を受けております。

[第二部]

司会：渡辺英雄 (日本酒学センター 専任教員)

『産官(酒業界)からの日本酒学への期待』

14:25 産：大平俊治 (新潟県酒造組合 会長)

14:40 官：後藤奈美 (独立行政法人酒類総合研究所 理事長)

『産業界(他業界・異分野)からの日本酒学への期待』

14:55 食：伏木 亨 (一般社団法人和食文化国民会議 代表理事会長/龍谷大学 教授)

15:10 ツーリズム：阪本未来子 (東日本旅客鉄道株式会社 常務執行役員)



[第三部]

司会：柿原嘉人 (日本酒学センター 専任教員)

15:35 日本酒学センター特任教員研究紹介

畑 有紀 (日本酒学センター 特任助教) 「古典文芸に見る酒の文化」

西田郁久 (日本酒学センター 特任助教) 「酵母研究について」

山本正彦 (日本酒学センター 特任助教) 「糖尿病およびその合併症とアルコール摂取」

佐藤菜美 (日本酒学センター 特任助教) 「生化学・分子生物学から日本酒学への展開」

[閉会の挨拶]

16:15 川端和重 (新潟大学 理事(財務・社会連携担当)/副学長)